

## 唐澤正実先生の追悼にあたって

日本大学経済学部長 小 椰 治 宣

唐澤正実先生は、平成7年4月に本学部の専任講師に採用され、助教授を経て、教授に昇格された後、本学部の学生担当、総合学生部長（日本大学本部）、学務担当を歴任し、経済学部図書館長として激務に励んでおられ、本学部にとってはまさに重鎮の一人でありましたが、平成26年8月、ご急逝されました。56歳という若さでした。突然の訃報に驚きと悲しみを禁じ得ませんでした。唐澤正実先生のご逝去にあたり、心より追悼の意を表します。

改めて、唐澤先生の経歴と職歴について簡単にご紹介します。唐澤先生は、昭和33年、東京都のお生まれ。地元の中学校をご卒業後、日本大学付属豊山高等学校に入学し、昭和52年4月に日本大学文理学部国文学科に入学、そして昭和56年3月に同学科を卒業されました。昭和56年4月に日本大学大学院文学研究科修士課程に進学され、58年3月に同研究科を修了されると同時に博士課程に進まれ、61年3月に同課程を退学されました。昭和61年4月より日本大学文理学部国文学科で助手を2年間務められ、昭和63年4月からは都立鷺宮高等学校（定時制課程）教諭として教壇に立たれました。その傍ら、日本大学理工学部、日本大学農獣医学部、日本大学文理学部で非常勤講師、また、国文学研究資料館（国文学研究）の情報研究専門員のお仕事もされていました。すでに述べましたが、本学部には平成7年4月に専任講師として着任され、平成10年4月に助教授、そして平成15年4月に教授に昇格されました。

唐澤先生には、学部では、文学A、日本語表現A、教養研究（一）（二）、研究論文、基礎研究をご担当して頂きました。唐澤先生は、私と同じ日大豊山高校の一年後輩でもあり、本学の文理学部のご出身でありましたので、学生に対しては常に熱いものがあり、教育のみならず生活面でも熱心に学生たちを指導されていました。また、老若男女を問わず、私たち教職員と盃を交わしては、学部の教育や大学の将来などについて時間を忘れ語り合っていました。

唐澤先生は、教育・研究でご多忙にも拘わらず、在職期間中、本学部においては学生担当、学務担当、経済学部図書館長などの要職の他、入試問題作成委員を毎年兼務されていました。また、学部内だけではなく、総合学生部長（日本大学本部）、武蔵俊英学寮管理委員会委員長、厚生施設等委員会委員長としてご尽力を頂き、本学の発展に大きく貢献されました。また、教育活動の傍ら、中世文学会、中古文学会、和歌文学会、日本大学国文学会に所属され、中世の和歌の研究に余念がありませんでした。唐澤先生を失った損失は極めて大きく、本当に残念でなりません。

最後に、唐澤先生のご冥福を心よりお祈り申し上げて、追悼の辞といたします。

(2016年2月20日)